神への礼拝

２０２６年１１月８日

使徒の働き　２章３７～４７節　（初代教会の描写）
コリント人への手紙Ⅱ　８章～９章　（献金に関する勧め）

序：教会は何をするところか？
　ロ集まって神への礼拝をささげる
　ロ聖礼典を行う
　ロ福音を証し（宣べ伝える）する
　今日は礼拝に関して、特に献金について神のことば（聖書）に聴く

Ⅰ．礼拝とは？
　神との会見（準備、態度、服装）
　神を信じる者が、神にささげるもの（神を求める者が神を訪ね近づくこと）
　　神を拝む（人間やその他の被造物を拝む＝偶像礼拝）
　神と民との交流
　　賛美、祈り、ささげもの
　　みことば（神ご自身とご計画の啓示）

Ⅱ．ささげもの
　⑴なぜささげるか？
　　①神が必要なものをすべて豊かに与えてくださるから
　　マタイ　６・３１～３３
　　ピリピ　４・１９
　　コリントⅡ　９・８

　　②喜び感謝して受けたものの一部をお返しする
　　十分の一　創　１４・２０　アブラハムがメルキゼデクに
　　創　２８・２２　ヤコブの請願
　　ﾏﾗｷ　３・８、１０　神を試す

　⑵だれがささげるか
　　①神の民（信仰者）　神の恵みに感謝する者　＝　神の恵み・祝福にあずかった者

　⑶だれに（どこに）ささげるか
　　①神にささげる
　　後で、教会や教職者や各種の宣教活動の必要のために用いられるとしても
　　神にささげられたものを用途に従い、適宜分配
　　②レビ人も、十分の一を納めた　ヘブル　７・９

Ⅱ．ささげもの（献金）についての教え　　コリントⅡ　８～９章

⑴神の恵みを分かち合う交わり
　マケドニアの諸教会の模範（試練と極度の貧しさにもかかわらず）
　あふれる喜び、惜しみなく、自発的に、力に応じ（力以上に）

⑵コリント教会の聖徒が一人前になるために欠けていたところが献金

⑶キリストの模範

⑷自分の約束を守って成し遂げよ
　喜んで、持っているレベルに応じて

⑸平等をはかる（ささげる者とささげない者がないように）

⑹今の余裕が将来の困窮の助け

⑺主の御名があがめられ、未信者にも主の愛と聖徒も誠意が伝わる

⑻他の聖徒たちを奮起させる

⑼神が愛してくださる

⑽神に感謝するようになる
　真の神をあがめる人たち増える

Ⅲ．献金の実際

⑴いつささげるか
　主日礼拝、折々に、いろいろな場所で

⑵種類
　月定献金（維持献金）、礼拝献金、指定献金、感謝献金、特別献金

⑶ささげる態度
　神への信仰と感謝をもって
　献身の表明として（自分自身をささげる）
　喜んで、進んで、惜しみなく、豊かに　　コリントⅡ　９・６～７
　強いられたり、いやいやながら、不承不承でなく
　神のみことばに応答して、心で決めたとおり

Ⅳ．結び

⑴礼拝の内容として、賛美、祈り、献金、みことばへの傾聴＆応答があるが、触れることの少なかった献金について改めて聖書を調べた

⑵献金は税金ではない　賽銭や御布施でもない　神に感謝してそれぞれ持っているものの十分の一＋奉納物を進んで喜んでお返しする

⑶ほかの人と比較しない（それぞれ事情／立場は異なる）
　自分の信仰に応じてささげる　額はそれぞれちがう
　cf. やもめのレプタ２枚　　マルコ　１２・４１～４４

⑷人には知られなくとも、主はご覧になっておられる
　主を欺くことはできない　主は報いてくださる

⑸私たちがおのおのみことばに従って祈り、ささげるならば不足をきたすことはない
　必要ならば、主がいっさいを満たしてくださる（私たちのささげものも用いて）